

電算NEWS INNOVATION

イノベーション(革新)は、電算システムの社是のうちの一語です。

Vol. **141**
平成29年8月7日号

編集・発行
株式会社 電算システム
総務部広報チーム
担当：後藤 直子
岐阜市日置江1丁目58番地
(058) 279-3456

収納代行「携帯SMS」を活用した新決済サービス開始!

当社は、携帯電話番号にメッセージを送信できるSMS(ショートメッセージサービス)を利用した新しい決済サービスの提供を2017年6月より開始致しました。

導入メリット

○到達率が高く、お客様への確実な連絡で、機会損失の防止
○受信者はSMSを受信した時点から、従来の紙による払込票を持ち歩くことなく、支払先の選択及び決済が可能となります。
○ご案内からお支払いまでスムーズな手続きによる回収率の向上
○案内からお支払いまでの決済状況を管理画面より

即時に確認が出来ます。
収納企業様においては、2重入金、2重請求の防止に繋がります。
○督促状、払込票、キャンセル等のご案内
SMSから決済情報をご案内することにより、督促状、払込票の印刷作業から発送作業の軽減、及び郵送費の削減も期待できます。

また、送信する電話番号の契約、名義人変更等を送信前に事前確認することが出来ます。
これらの機能を用いてSMSの誤送信を防止することが可能です。

SMSは短いテキストを送信するというシンプルな伝達手段であること、メール配信に比べ到達率が高い(SMSの到達率は最高99%)などの特長により、お客様に内容がダイレクトに伝えることができるツールです。さらに多くのスマートフォンは、初期設定でSMSが届くと画面に通知させることが可能なので、開封されやすい傾向にあります。これらのSMS

の長を活用し、請求通知から決済までパッケージ化した新サービスにて、便利な活用を企業や消費者に提供することが出来ます。

また、キャンペーンのご案内
SMSから決済情報をご案内することにより、督促状、払込票の印刷作業から発送作業の軽減、及び郵送費の削減も期待できます。

今回のSMSを活用した新サービスはペーパーレス決済サービスの一つに位置付けられます。
これからも、電算システムは総合決済サービスプロバイダーとして、決済サービスの多彩化と充実に努めてまいります。

○案内からお支払いまでスムーズな手続きによる回収率の向上
○案内からお支払いまでの決済状況を管理画面より

即時に確認が出来ます。
収納企業様固有のお客様情報で受信者の本人確認を

機能で誤送信の防止
収納企業様固有のお客様情報で受信者の本人確認を

行う事が出来ます。
また、送信する電話番号の契約、名義人変更等を送信前に事前確認することが出来ます。
これらの機能を用いてSMSの誤送信を防止することが可能です。

サービス概要

①支払い専用URLにアクセス
(スマートフォン・フィーチャーフォン)



②本人認証画面
(オプションサービス)



③支払い方法選択画面



④支払い用番号を表示



⑤お支払い



決済サービス事業部 桐山

デジタル教科書制作 加速!

2016年12月に開催された文部科学省の有識者検討会議において、「2020年度から全国の小中高校でデジタル教科書が使えるようにする」との最終報告がまとめられました。現在は副教材の扱いですが、今年度にも法改正し正式な教科書と位置づける方針とのこと。これを受けて各教科書出版社は本腰を入れて急ピッチでデジタル教科書の制作に取り組みと思われれます。

当社は、2012年より**東京書籍株式会社**のデジタル教科書制作を主に手掛けており、これまでで専用ビューア



『Lentrance® Reader (株式会社 ACCES)』に対応した高校向けデジタル教科書、中学校向けデジタル教科書やコンテンツ集を制作しました。

この『Lentrance® Reader』はシンプルかつ直感的な操作でさまざまなデジタルコンテンツを扱えるデジタル教科書教材ビューアです。一斉授業での演習やタブレットを使った個別学習をサポートします。

さらに、今年、新たに3つの出版社より制作の委託を受けることができました。

株式会社文英堂様は、教科書をはじめ、学習参考書・問題集などを供している教育図書出版社です。「創意工夫により新しいサービスをお客様に提供し、教育事業を通じて日本の未来に貢献する」を経営理念に掲げ、お客様の立場に立ったサー

ビス開発を続けておられます。ブランドイメージの「シグマベスト」は「学ぶ人それぞれにとってベストな価値を提供したい」という現れとなっており、より使いやすく、わかりやすい教材を目指して、高等学校向けデジタル教科書を新発売されました。



た音読ツールやフラッシュカードを大幅に機能強化し完全リニューアルされた『Lentrance® Reader』対応の高等学校向けデジタル教科書をリリースされました。

株式会社桐原書店様は、主に英語・国語の高等学校向けの教科書・副教材と小論文テストなどを提供している出版社です。教育現場の生の声に耳を傾け、商品やサービスの内容に反映しておられます。先生や生徒さんにいちばん近いところで教科書や学習参考書を作り、提供することを目指しておられます。好評だっ

学習に喜びと感動を 桐原書店



株式会社教育同人社様は「全ての子どもにもっと教育を」という企業理念のもと、小中学校むけの学校教材の企画・開発を行っている出版会社です。創業以来、先生は使いやすく、児童がわかりやすく、そして保護者が学習状況を把握しやすいという点を重視した教材開発を続けておられます。文科省が推進する「課題の発見・解決に向けた主体的・対話的な深い学び」に基づき、児童が自ら楽しみなが

「アクティブ・ラーニングシート デジタル版」の提供を開始されました。

当社は、今後も多くの実績を積みノウハウを貯め、さらなる質の高いデジタル教科書を提供できるように努めてまいります。また、ドリル・問題集のデジタル版の制作或いはデジタル教科書をベースに授業支援や学習管理等のシステムとトータル的なシステム提案へと発展させたいと考えています。

カスタマーサービス事業部
公共営業部 橋本・金田

Lentranceは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESの登録商標または商標です。

みんなにスマイル。教育同人社



宮地会長・杉山常務
中部学院大学様経営学部公開講座にて講演



▲宮地会長

2017年5月24日、中部学院大学様の2017年経営学部公開講座「現代マネジメント研究」第3回に、宮地会長、杉山常務が、「AI(人工知能)・ロボット、世の中が変わる!」と題し、学生の皆様、市民の皆様、大学関係者の皆様など200名を前に講演をいたしました。

みることを提案
しました。
続いて、杉山

常務は、現在のAIとロボットの活用事例と当社での取り組みについて述べました。また、iPhoneを用いて、音声認識や英語の翻訳のデモを行い、参加者を驚かせました。加えてシステムエンジニアの平井さんがロボットSota君を使った受付業務のデモを行い、AIとロボットが普通に活用される日常がすぐそこまで来ていることを実感していただきました。

最後に、中部学院大学片桐副学長からロボットの想像力について質問をいただきました。杉山常務は想像力を人工知能に教えようという実験はすでに行われているが、AIも人間にとっては



▲杉山常務

道具の一つであるべきであり、想像力や欲望を持たせることは非常に危険な要素があると考えたと答えました。

2017年6月28日、ホテルグランヴェール岐山において、オープンイノベーションクラブ(当社取引先持株会)研修会を開催し、昨年資本業務提携を締結しました株式会社ワークスアプリケーションズ 取締役最高顧問 八剣洋一郎様に「AIと日本」『HUE』世界で初めてのAI搭載型ERP誕生」と題し、ご講演いただきました。



オープンイノベーションクラブ(当社取引先持株会)研修会にて
株式会社ワークスアプリケーションズ
取締役最高顧問 八剣 洋一郎様講演

講演に先立ち、挨拶に立ちました。

つた宮地会長は、当社の成長戦略の一つである資本業務提携の第一号である株式会社ワークスアプリケーションズとの事業展開について紹介しました。

八剣様は、最初に、国際的な製造業向けのIT政策とそれに対する日本の状況について、SAPにおけるグローバルスタンダードと日本スタンダードの違いを例に説明しました。次に、情報系AIと運動系AIについて、ディープラーニングの具体的な動画を用いて説明頂き、運動系AIである収穫ロボット等は日本人が得意とする分野であると述べました。さらに、ERPの歩みとともにAI搭載型ERP『HUE』の実際の画面を用いて、ERPソフトにAIを搭載することにより可能となったこと、また、これからの可能性について説明しま

一層力を注ぐことを皆様に伝えました。
八剣様には、研修会の後の交流会にも参加いただき、皆様より多くの質問や感想をいただきました。



▲ワークスアプリケーションズ
八剣取締役最高顧問

「都営バス」デジタルサイネージ デジタルサイネージアワード2017受賞

2017年6月7日から3日間幕張メッセで開催されたデジタルサイネージジャパンの会場で、一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム主催のデジタルサイネージアワード2017の表彰式が行われました。このアワードは2017年1月以降に発表されたデジタルサイネージコンテンツ、ハードウェア、システムを対象としたもので、当社からは「都営バスデジタルサイネージ」をエントリーし、「ロケーション部門」で受賞いたしました。受賞理由は、従来では非常に難しかった、移動するバスの位置情報や、気温・天気に関連したコンテンツの出し分けが柔軟にできるといった、デジタルサイネージにおける新たな広告価値の創造ができた事となっております。今後もサイネージビジネス



▲表彰式
クラウドインテグレーション
事業部 布施課長

「都営バス」デジタルサイネージについて

都営バス150台の車内にクラウド型のデジタルサイネージを設置し(2020年東京オリンピックまで1000台設置予定)、当社にてシステム構築・設置・運用を行っています。

従来型デジタルサイネージでは難しかったリアルタイムデータ(天気、気温、時間、位置情報)をトリガーとした常時配信も可能となり、例えば近くにある商業施設のイベントに合わせた広告配信など、より効果の高い広告配信に利用できます。



Google Cloud Next '17 in Tokyo

docomo x DSK 共同出展

2017年6月14・15日に開催された、Google主催イベント「Google Cloud Next '17 in Tokyo」にプラチナスポンサーとして株式会社NTTドコモ様と共同出展および講演をいたしました。

Google™が提供するクラウド型グループウェア「G Suite」の活用による「生産性向上と働き方改革の推進」を主テーマに来場者にアピールしました。

One Google戦略を推進し、「Google製品を熟知した当社だからこそできる支援と自負し、「一般社員様向け活用トレーニング」「ドライブ活用トレーニング」「G Suite 活用の社内教育担当の育成」など企業のニーズに合わせ、オーダーメイドで提供可能なことを伝えました。

また、本イベントに合わせ「LumApps Inc.(本社: フランス リヨン) CEO: Sebastien Ricard」が提供する「Googleサイトを利用した企業向けポータル&ソーシャルサイト作成ツール「LumApps」を販売代理店として提供を開始すること

を発表しました。このツールは、企業内のあらゆる情報を集約したポータルサイトを簡単に作成・管理することが可能です。

今回「Google Cloud Platform™」(以下GCP™)が大きく取り上げられたところが特徴と言えます。GCPとは、Googleがクラウド上で提供するサービス群の総称です。クラウド上で仮想マシンを動作させる「IaaS」Google Compute Engine™をはじめ「Google社内で開発・利用されている技術をベースとした複数のサービス群(コンピュータやストレージ、ビッグデータ、機械学習など)から構成されており、Google自身が顧客向けサービス(Google検索/Gmail/YouTube™等)のために利用しているインフラと同じものが利用できるところは大きな魅力と言えます。

クラウドサイネージブスをDSKがサポート

本イベントにて「Googleの展示する「Cloud Signage Solution」ブスを運営いたしました。Chrome OS™を

活用したクラウド型サイネージの導入実績や提案内容が評価され、3年連続の運営となります。当社の提供するクラウド型デジタルサイネージは、東京・都営バス様で採用されたChrome OSで動作するStratosmediaというシステムで、インターネット上のコンテンツがそのまま利用できるなど、柔軟な配信が可能です。



当社もGCPのパートナー認定を取得しており、このような新たな取り組みの中で、より利便性の高い、革新的なサービスを提供し、更にGoogleビジネスを拡大・発展させていけるよう、事業部一丸となって邁進してまいります。

クラウドインテグレーション事業部

*Google「Google Cloud Platform」
Google Compute Engine「YouTube」
およびChrome OS™「Google Inc.」登録商標または商標です。